
木星戦記

獅堂 桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

木星戦記

【Nコード】

N2027E

【作者名】

獅堂 桜

【あらすじ】

帝国軍の新型兵器で戦う女性准将ナタルと仲間たちの物語です。

一章

紫の機体　ブライトフリーダム初号機のパイロットであるナタル
ウィリアムスはロベール帝国軍第一木星部隊の准将。

ナタルは長身で小柄、目は茶色、髪は黒髪だった。

「ウィリアムス准将、議長がお呼びです。」

黒い軍服を着た小柄な二等兵　ジミー　アスカがナタルの専用室の
ドアを叩いた。

「ジミー？」

ナタルはドアを開けた。

「実は、漆黒の鷹がコロニー　ジュピターステーション内を侵攻中
との連絡があり、評議会が

第一木星部隊に出撃指示を出しました。」

ジミーの報告にナタルは部屋の鍵を閉めた。

「分かったのは初号機で出撃せねばならないこと。行きますよ。」

二人はパイロットスーツに着替え、格納庫直通エレベーターに乗り
込んだ。

その間も敵機はジュピターステーション内を焼き払っていた。

「なんて事だ……。」

白い軍服のヤマト司令は焼き払われた規模を見て、呟いた。

「司令、ナタル　ウィリアムスです。」

ナタルとジミーが格納庫に到着した。

「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2027e/>

木星戦記

2010年10月31日13時53分発行